

HIC通信

Vol. 107
January 2020
Hiroshima
International
Center



目次

P2 県内留学生による「私の国と日本」

P3 事業報告

交流部

留学生活躍支援センター

P8 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

P9 研修部トピックス

P10 日本語弁論大会出場者募集

P11 JICAレポート

こちら JICA デスク

佐木島フィールドワークツアー(2019年11月30日)

私の国と日本

留学生紹介

李 明 明 さん
リ ゲツメイ

広島大学文学研究科修士2年生の李明明です。3年前に広島に来ました。出身は中国の遼寧省の省都の瀋陽です。中国の東北に位置し、冬は-26℃にもなり、風が顔にあたるだけでとても痛くて、鼻の粘膜も凍つてしまします。

広島県内の色々なところを訪れ、国際交流活動や伝統文化体験することが大好きです！



中国編

今号から数回シリーズで、県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！



冬の瀋陽



■ 交通

日本はタクシー代が本当に高いです。調べてみたら、日本は世界で2番目にタクシー代が高いらしく、北京の10倍ぐらいかかります。観光客にとっては信じられない額でしょう。

そして、中国に居た時は軽自動車を一度も見たことが無かったので、日本に来て町中を走っている軽自動車を初めて見た時は、オモチャみたいに小さくて可愛いと思いました。

■ 生活

日本では街中に「ごみ箱」が無いことにびっくりしました。しかも清掃員も見たことがないです。中国ではごみ箱がどこにでもあるので、ごみを捨てずにそのまま家に持つて帰るのはあり得ないことす「なんでごみ箱が無いのに、日本の街はそんなにきれいなの！？」というのは、外国人の間でよく出る意見です。

■ 食べ物

最近中国では日本料理が若者の間でとても人気ですが、刺身や生卵のような生ものはやはり受け入れない人が多いです。そして、日本のレストランは冬でも冷たい水を出しますが、中国人は「温かいお水が体に良い」と信じていますので、レストランでは普通にお湯が出てきます。

■ 若者たち

中国の高校の多くはサークル活動が無く、恋愛も禁止です。日本のアニメを見た時、高校生が楽しそうに恋愛をしていて、青春だなあと思いました。

■ 最後に

日本と中国、文化から地理まで色々違いますが、私は広島に来て出会った親切な日本の方々のおかげで、すぐに日本の生活に慣れました。広島は本当に住みやすい町です。通学路の柿、シラサギ、鴨、綺麗に咲いている花、豊かな自然と優しい人達に私はいつも感動しています。

私は日本に来て、日本語を専門的に学び、日本の文化を深

く体験しました。今は両国の間で、誤解がまだ存在していると思いますが、私は自分の学んだ知識や得た経験を、日本と中国の交流が深まるように役立てたいです。そして、もう一つ。いつか自分の小説を出版できたら満足です。



母国の大学の卒業写真



広島大学の大 学祭



日本文化体験イベント



Discoverひがしひろしまツアーに参加

• Activity Report •

交流部



Report 1 外国人相談員研修と外国人相談の出張相談の開催

外国人相談の相談員（担当者）研修会の開催

県や県内市町の外国人相談の窓口等において応対する担当者が注意点や技法を学んだ。

開催場所 庄原市（11月），広島市（12月），福山市（12月）

参加者 65人（9+18+22+16）



庄原会場の模様



福山会場の模様

外国人相談の出張相談の開催

外国人相談者の利便性の向上を図るため、外国人総合相談の地元開催について希望のあった市町において在留資格、社会保険、法律・人権などの相談を行った。県東部での開催は地元市町と調整中。

開催場所 江田島市（12月8日），三次市（12月21日）

参加者 11人（5+6）



江田島市出張相談



三次市出張相談の相談員

交流部



Report 2 HIC医療通訳ボランティア派遣事業の実施状況

登録ボランティア
(2019年12月1日現在)

英語	中国語	ベトナム語	タガログ語	ポルトガル語	スペイン語	計（延べ人数）
28	26	11	10	5	5	85

※実登録者数は84人（英語とスペイン語の2言語を登録している方が1人）

（単位：人）

利用できる医療機関

市町	医療機関の数	左記の内HICのHP掲載分
広島市	6	●県立広島病院 ●広島赤十字・原爆病院 ●安芸市民病院
廿日市市	1	●JA廣島総合病院
東広島市	5	●県立安芸津病院 ●井野口病院 ●西条中央病院
三原市	3	●興生総合病院 ●三原赤十字病院 ●三原医師会病院
尾道市	1	●尾道市立市民病院
福山市	5	●セントラル病院 ●堀病院 ●福山市民病院 ●中国中央病院
府中市	1	●府中市民病院
世羅町	1	
計	23	

※同一市町内の掲載順は、利用申込書を提出した順である。

**医療機関及び
保健機関の派遣実績**
(運用開始から
(2019年11月末まで))

英語	中国語	ベトナム語	タガログ語	ポルトガル語	スペイン語	計
28	15	11	18	0	11	83

（単位：件）

• Activity Report •

交流部



Report 3 国際フェスタ2019に参加しました

11月17日（日）に、今年で20周年となる「国際フェスタ2019」が広島国際会議場で開催されました。当センターは、JICA中国などと「地球ひろば」を運営し、「外国語でおしゃべりしよう」や中国茶、モンゴル切り絵、メキシコの死者の面づくりなどの外国の文化・遊びの体験のほか、世界の民族衣装の試着体験などを行いました。また、屋外ステージでは、外国人留学生などにより外国の踊りや歌を披露してもらいました。

今年も多くの外国人・日本人学生の方にボランティアとして協力いただきました。ありがとうございました。



外国語でおしゃべりしよう(地球ひろば)



屋外ステージの出演者の皆さん

交流部



Report 4 令和元年度 奨学生決定通知書授与式・第2回奨学生交流会を開催しました

外国人留学生に対する奨学生決定通知書授与式・第2回奨学生交流会を12月9日（月），ホテルセンチュリー21広島で開催しました。この交流会は、奨学生の受給者と協力企業・団体との交流の促進を目的として、年2回開催しています。

交流会に先立ち、10月から新しく奨学生受給者となった8名に、佐々木会長より奨学生決定通知書の授与を行いました。また、交流会での芸能披露では、エリザベト音楽大学の奨学生パッタラポさんと演奏協力者シワットさんにヴィオラとギターでの素晴らしい演奏を披露してもらい、会場は大いに盛り上がりました。



渡田等奨学生決定通知書授与式



奨学生等による演奏



渡田等奨学生代表挨拶

交流部

Report 5 グローバルキャリアセミナー(第3回)を開催しました

12月7日（土）に、独立行政法人国際協力機構（JICA）中国センター八里さんと、舛本さんを講師として「国際協力関係の仕事につくには」をテーマに開催し、中学生、高校生、大学生を中心に30名の方に参加してもらいました。八里さんは、舛本さんからは、自分がなぜ国際協力関係の仕事に就職したのかや、国際機関、JICA、青年海外協力隊を目指すにはどのような準備をすればいいのか、実際に現在どのような仕事をしているのか等を詳しく説明してもらいました。また、質疑応答では、事前に寄せられて質問に丁寧に回答してもらい、参加者も参考になっている様子でした。セミナー終了後の個別相談にも、多くの学生が参加し、お二人に熱心に相談をしたり、アドバイスを受けていました。



講演



個別相談

交流部

Report 6 インターナショナルカフェ(韓国料理編)を開催しました。

12月17日（火）、広島市留学生会館でインターナショナルカフェを開催しました。

インターナショナルカフェは、広島に住んでいる外国人の方を招き、気軽な雰囲気で異文化を理解するイベントで、今回は「韓国料理」がテーマでした。

広島県国際交流員（CIR）のホ・ソヒさんに、韓国のポピュラーな料理「キムパッ…ご飯と様々な具を海苔で巻いたもの」「トッポギ…韓国餅を甘辛いコチュジャンで炒め煮込んだ料理」を教えてもらいました。作った後はソヒさんを交えて韓国の話などおしゃべりをしながら交流会をしました！



「キムパッ」と「トッポギ」



参加者の集合写真

交流部

Report 7 スペイン語で忘年会しようを開催しました。

12月11日（水）に、メキシコ出身の広島県国際交流員（CIR）ホルヘ・ロドリゲスさんを招いて「スペイン語で忘年会しよう！」を開催しました。メキシコ版の忘年会と言われる「ポサダ」を体験し、皆でスペイン語の歌を歌ったり、ピニャータ（お菓子が入ったくす玉）割りを楽しんだりしました。そして、メキシコのクリスマスシーンには欠かせない、ホルヘさんお手製の「エンサラダ・デ・マンサナ（りんごサラダ）」と「ポンチエ・デ・フルタス（温かいフルーツポンチ）」も試食してもらいました。



ピニャータ割り



ポサダの練習

• Activity Report •

交流部



Report 8 韓国語でおしゃべりしよう!を開催しました

11月8日（金）に、広島県国際交流員の許笑熙（ホ・ソヒ）さんを招いて今回は「韓国旅行」をテーマに開催しました。韓国ドラマ、グルメ、K-POP、ファッションなど、興味が違う参加者さん同士が、自分の好きなものや好きな場所・旅行の経験などを紹介し合い、皆さんそれぞれ新たな発見をしたようです。ソヒさんからは、故郷である大邱（テグ）での旅行プランを紹介してもらい、参加者の皆さんには、写真を撮ったりメモをしたりしながら、熱心に聞き入っていました。



交流部



Report 9 英語でおしゃべりしよう!を開催しました

11月29日（金）に、アメリカ出身の広島県国際交流員（CIR）のゴトウ・ハーシング・アヤさんを招いて開催しました。今年7月に着任してから、ゴトウさんにとっては初めての「おしゃべりしよう」イベントでしたが、持ち前の明るさで、しっかり盛り上げてくれました！英会話スクールなどでは教えてもらえないような、アメリカ文化の紹介や、よく使うイディオム、アメリカ国内にある方言など、いろいろな角度から英語やアメリカについて紹介していただきました。次回のイベントもぜひお楽しみに！



留学生活支援センター



Report 10 「佐木島フィールドワークツアー」を開催しました

11月30日（土），佐木島（三原市）において「佐木島フィールドワークツアー」を開催しました。県内の外国人留学生、日本人学生、島のガイドさん、住民の方の総勢58名が参加し、秋の瀬戸内海の島を楽しみました。

メインの島内観光では、グループ毎にガイドさんが1人ついてガイドをし、満潮になると肩まで水につかる岩に彫られたお地蔵様や瀬戸内海を望む小高い丘を訪れたり、みかん狩り体験や海浜セラピーのプチ体験（海の音を感じたり、貝の音を聞いたり、海に向かって叫んだり…とてもストレス発散できます！）などをしました。みかん狩り体験も学生さんはすぐコツをつかみ沢山のみかんと写真をとって楽しんでいました。

その後、会場に戻り「佐木島のおすすめスポット」について、グループ毎にプレゼンテーションをしてもらいました。

イベントの最後には、島内の「島のぱん屋さん」のパンをお土産としておいしくいただきました。島の方々のおもてなし、島の景観、そして最高の天気に恵まれとても思い出深いイベントとなりました。

三原市、鷺浦町内会、さぎしまを愛するボランティアガイド、地域おこし協力隊の皆様に多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



おすすめスポットのワークショップ



みかん狩り体験



道祖神の丘



海浜セラピー（プチ体験）



磨崖和靈石地蔵

留学生活躍支援センター

Report 11 ひとむすび×HICコラボ事業を実施しました

ひろしま国際センターと、東広島市で地域活動を支援している合同会社「ひとむすび」とが連携し、留学生の地域交流事業を展開することとなりました。

第1回目は、11月10日（日）に東広島市豊栄町で約40人の留学生、日本人学生が参加し「Apple Tour in 豊栄」を実施しました。リンゴ狩りや地元野菜を使った鍋づくり、地元で飼われている羊毛を使った「羊毛フェルト」づくりを行いました。

第2回目は、12月15日（日）に東広島市八本松町吉川で約40人の留学生、日本人学生が参加し「Japanese Traditional Tour」を実施しました。日本の伝統行事である餅つきやしめ縄作りを体験し、昼食では、つきたてのお餅を使った料理を食べ、地域の皆さんと交流しました。

これらのイベントを通じ、国籍や大学の枠を超えて、新しい友達を作ったり、地域のことを知る良い機会になりました。



トライディショナルツアー（しめ縄作り）



羊毛フェルト作り



りんご狩り

留学生活躍支援センター

Report 12 「グローバル人材活用セミナー」・「外国人留学生就職支援交流会」を開催しました

11月29日（金）、東広島芸術文化ホールくららで開催し、企業向けの「グローバル人材（外国人留学生）活用セミナー」では、ダイキグループ取締役人事部長板橋正志さんに、外国人留学生を初めて採用する企業などに向けて、「外国人留学生採用において必要な手続きや注意すべきポイント」や「外国人留学生採用・活用事例」をテーマに講演してもらいました。

留学生向けの「就職支援交流会」では、約80名の留学生が参加し、第1部では、「就職準備講座」として、マツダ株式会社人事室採用グループ 小栗栖 康正さんに、元留学生という経験に基づいて日本での就職活動の体験談や留学生へのアドバイスを頂きました。第2部では各業界を代表する13社の企業に参加してもらい「企業別業界研究会」を開催しました。留学生は関心のある企業のブースで熱心に企業からの説明を受けたり、質問をしていました。



外国人就職支援交流会

留学生活躍支援センター

Report 13 外国人留学生のための「就職活動実践セミナー」開催中です

日本の就職活動は世界でもとてもユニークな形式で行われています。特に海外と比べて就職活動の開始が早いため、在学中に就職活動を始める必要があり、留学生はスタートに乗り遅れてしまう傾向があります。加えて近年は就職活動が早期化しているため、早めに準備を始めて効率的に動く必要があります。

この「就職活動実践セミナー」は留学生を対象に、全4回で就職活動のポイントを全て学びます。また、セミナー終了後は、コンサルタントによる個別の就職相談も受けことができ、就職活動をサポートします。

第4回(模擬面接・グループディスカッションの練習)を1月18日(土)14時から16時までひろしま国際センターで開催しますので、参加してください。

自分の希望する企業の内定を獲得するため、留学生の皆さん頑張ってください！！



福山会場の様子



東広島会場の様子

PROGRAM	終了	日本の就職活動について 自己分析の仕方 業界／企業研究の仕方 在留資格について	就活スケジュールや採用動向を理解しよう 自分を見つめ直し、アピールポイントを見つけよう 自分に適した業界や企業を見つけよう 就労可能な在留資格や必要書類、注意点などを学ぼう
第1回 講義	終了		
第2回 講義 + 実践	終了	応募書類の書き方	エントリーシートや履歴書の効率的な書き方を学ぼう
第3回 講義 + 実践	終了	面接対策	面接、グループディスカッションの準備をしよう
第4回 実践	1/18	模擬面接、 グループディスカッションの練習	本番と同じ流れで模擬面接をやってみよう

就活プログラム

*プログラムの順番は一部変更になる可能性があります。

Hello Hiroshima

Vol.107 January 2020



Hello everyone! Aya here.
Aya

I have now been living in Japan, more specifically Hiroshima City, for approximately 4 months now! I would say I've for the most part adjusted, and I'm really enjoying my new life here.

When I first moved here the city felt big and confusing because I wasn't used to it, but now as I've gotten increasingly accustomed, it truly feels like home. Hiroshima City is actually rather small and home-y, which makes it easier to settle into and I really enjoy that. It's small enough where frequently enough you can coincidentally run into people you know, almost like my college campus!

For example, the other day it suddenly started raining as I headed home from work. As I'm rather forgetful I had left my umbrella at the office, so started running back to my house to get as little wet as possible. However, while I waited at a crosswalk, starting

to get really soaked, to my surprise a hairdresser who'd cut my hair the previous month came running up to me out of his shop to give me an umbrella to take home with me, telling me to be careful not to catch a cold (I did the next day haha but I'm sure it was less severe because of his kind gesture).

Another time, as I walked past one of my favorite neighborhood restaurants, the owner looked out the window at me and smiled and waved. Now it's become a tradition, and we've done so every time I've walked past ever since. When my mom visited me in Hiroshima City and had to find things to keep her occupied while I was at work, she would often go there too. She went there so much in fact, that she took a photo with the owner and sent it to me before she flew back home (San Francisco, USA). I thought this was really sweet, so the next time I went, I took a photo with the owner too and sent it to my mom to surprise her!

It's these little gestures of kindness that have been the biggest part of my growing love for Hiroshima City and its people, and are what have made it somewhere I can truly call home. I look forward to further getting to know it, and hopefully giving back to the community some of the kindness that it's given me!

Upcoming



Event News



国際交流パーティー

国際理解と交流を目的にしたパーティーです。
海田町と近隣在住の外國の方に広く参加を呼びかけています。
食べ物や飲み物を準備してお待ちしていますので、お気軽にご参加ください。

日 1月26日(日) 時 12:00~15:00 定 なし
場 海田町福祉センター 多目的ホール
費 500円または食べ物一品(生ものは不可)(中学生以下無料)
問 海田町国際交流協会 担当者:川崎 Tel: 082-823-7611
mail : kokusai@ms13.megaegg.ne.jp

フランス文化講演会

演題: 「フランス語の俳句」日本語にて
講師: マリ＝ノエル・ボーヴィウ氏
(広島大学欧米文学語学・言語講座フランス文学・語学分野准教授)

日 2月1日(土) 時 14:00~15:30 費 入場無料
場 広島日仏協会
(広島市中区中町6番30号 広テレプラザ6F)
問 広島日仏協会 担当者: 西澤 Tel: 082-569-5450
mail : sfjhiro@crocus.ocn.ne.jp

ユニセフ講座 SDGsとわたしたちのくらし Part2 第2回「チョコレート工場の秘密」

日本ではいつでも美味しく食べられるチョコレートですが、原料を誰がどのように集めているか知っていますか?バレンタインが近いこの時期、チョコレートを通して、私たちと途上国のかかわりを考えてみましょう。共催:県立広島大学人間文化学部 国際文化学科富田研究室

日 2月8日(土) 時 13:30~16:00 費 無料 定 40名
場 サテライトキャンパスひろしま
(中区大手町1-5-3広島県民文化センター5F)
問 広島県ユニセフ協会 担当者: 高田 和美 Tel: 082-231-8855
mail : unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

第17回 国際交流フェスタinくれ

「世界とつながる 未来へつなげる」をテーマに色々な国の方と文化が集合します!飲食などで異文化体験できるたくさんのブースと、外国の方の日本語スピーチや華やかなステージプログラムもあります。最後には抽選会も。ぜひお越しください!

日 2月16日(日) 時 13:30~16:00 定 なし
場 岐阜市役所1階 費 無料(但し、飲食ブースは有料)
問 岐阜国際交流協会 Tel: 0823-25-5607
mail : kure-ies@eagle.ocn.ne.jp



ひろしま国際センター研修部では、
 國際研修や國際交流、異文化理解などに関する
 多種多様なプログラムを担っており、
 その数は年間250近くになります。
 この中から、昨秋実施した3つのプログラムを紹介します。

その1 HIROSHIMAピーストーク（第1回）



皆で難民問題について考えました

9月14日（土）に、広島平和記念資料館において「HIROSHIMAピーストーク（第1回）」を開催しました。今回は「アフガニスタンのパスポート」と題し、未だ紛争状態にあるアフガニスタン出身のJICA研修員から、同国の文化や紛争により増え続ける難民の実相などについて聞きました。研修員の発表に続いて「難民について考えるワークショップ」を実施し、中高生を含む参加者から「アフガニスタンや難民について理解が深まった」、「何かできることはできないか考えるきっかけになった」などの感想が寄せられ、平和について考える貴重な機会となったようでした。



研修員によるアフガニスタンの紹介

その2 第1回世界わくわくプロジェクト

その2 第1回世界わくわくプロジェクト

9月28日（土）に、ひろしま国際プラザ（東広島市鏡山）において、地域の小学生を対象に、体験を通じた国際理解の機会を提供するイベント「世界わくわくプロジェクト」を開催しました。今年からスタートしたこのイベントでは、22人の外国人研修員・留学生と9人の日本人ボランティアの皆さんとの協力を得て、世界の文化や現状を紹介する6つのブースやワークショップを実施しました。外国人参加者のお国語の言葉で「ありがとう」を教えるワークショップやハラールフードの紹介、子どもたちがパートナーの外国人参加者と一緒に、すぐろくのマス目に書かれたミッションをクリアする「ミッションすごろく」ゲームのほか、チョコレートの原料のカカオ農園での児童労働について紹介するワークショップなども実施しました。



「ミッションすごろく」ブースの様子



目印の帽子をかぶった外国人参加者に子どもたちが頑張って話しかけます

その3 外国人のための子育て交流会

10月26日（土）に、ひろしま国際プラザにおいて、地域で子育て中の外国人・日本人家庭の交流会を行いました。外国人家庭の日本での子育ての悩みを解消するとともに、日本人家庭と互いの子育て事情を紹介し合うことで国際理解の推進を図るものでです。

4人の日本人ボランティアの皆さんの協力を得て、外国人5家庭と日本人7家庭の合計34人の参加者が一緒に「じゃんけん列車」ゲームや簡単な工作（風車作り）を行った後、各家庭の子育て事情等について話しながら交流を行いました。イベント終了後には、参加者から子育てサークル立ち上げの提案があり、早速連絡先の交換などが行われていました。



「じゃんけん列車」ゲームでアイスブレーキング



子育て中の「あるある」でトークも盛り上がります



家族ぐるみの交流を楽しみました

出場者
募集

第61回 外国人による 日本語弁論大会

が福山市で開催されます！



60回大会参加者のみなさん

一般財団法人 国際教育振興会、独立行政法人 国際交流基金、福山市が主催する「第61回外国人による日本語弁論大会」の出場者を募集します。

この大会は1960年(昭和35年)から毎年開催されている全国大会であり、広島県内では初の開催となります。

申込方法等、詳しくは一般財団法人 国際教育振興会のホームページ(<http://www.iec-nichibei.or.jp>)をご覧ください。

多くの皆様のご応募をお待ちしています。

広島県
初開催！



ぱらのまち 福山
イメージキャラクター「ローラ」

開催日時 2020年6月13日(土)午後1時～

開催場所 ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ(福山市松浜町2-1-10)

応募期間:2月17日(月)～4月23日(木)

応募要項

出場資格:母語が日本語以外で大会当日に満15歳以上、かつ過去の本大会で外務大臣賞・文部科学大臣賞を受賞していない方

内 容:演題自由、ただし伝道や宣伝に類するものは不可で未発表作品に限る
制限時間6分以内、過度な演出や演技、小道具の使用は禁止

申込方法:①所定の申込用紙 ②スピーチを録画したメディア
③スピーチ原稿 ④顔写真 をまとめて、郵送又はメールに添付し提出

応募書類
送付先

☆郵送の場合

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-2-2 深津ビル401
国際教育振興会「外国人による日本語弁論大会」係宛

☆メールの場合

benron@iec-nichibei.or.jp
件名に「61回応募(応募者名)」を必ず明記



QRコードを
読み取ると、
国際教育振興会の
HPが
ご覧いただけます。

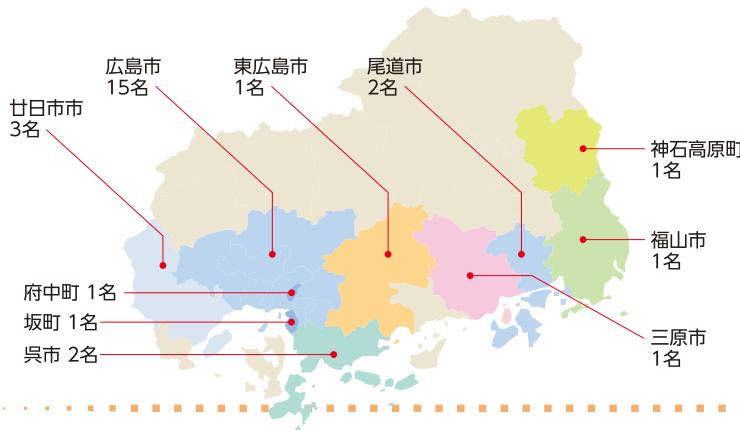
問合せ先: 一般財団法人 国際教育振興会

電話 03-3359-9620 (月～金 午前9時から午後5時)

E-mail: benron@iec-nichibei.or.jp

広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

28名の広島県出身の隊員が世界で活躍しています!



■現在赴任中の広島県出身 JICA海外協力隊(名)

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	11	9	20
シニア海外協力隊	5	1	6
日系青年海外協力隊	2	0	2
日系シニア海外協力隊	0	0	0

2019年10月31時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間、衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか?

帰国隊員レポート ～バヌアツ共和国篇～

職種：小学校教諭

青山 翔さん



▲算数授業の様子

バヌアツ共和国の首都ポートビラがあるエファテ島から、飛行機で約1時間北西に行ったところにあるマレクラ島にて小学校教諭の隊員として活動していました。赴任した当初は、日本での小学校教諭の経験をもとに子ども達に算数の授業をしたり、先生達に算数の指導法について説明したりしていましたが、全く受け入れてもらえませんでした。そこでマレクラ島でとても信頼されている校長先生と一緒に算数教育に興味がある先生を探し回り、その先生方と一緒にマレクラ島算数教師会を設立し、みんなでよりよい算数教育を考えしていく場作りを行いました。最終的には、州都を有する五つの島で算数教師会が設立され、年に一回首都に集まってバヌアツ全国算数教師大会が開催されるようになりました。



▲教え子の笑顔



▲全国算数教師大会の中心メンバーと共に



▲通勤路。両サイドにヤシの木が広がる

バヌアツってこんなところ!

「世界一幸せな国バヌアツ共和国」このキャッチコピーはただの宣伝ではなくて、バヌアツ共和国に派遣された多くの青年海外協力隊員が感じることだと思います。その理由として、まずは食べ物が豊富にあります。バヌアツ共和国の気候は、温暖多湿で土がとても肥えていたため、オーガニックなタロイモ、ヤムイモ、バナナ、マンゴー、トマト、ナス、アイランドキャベツなど街中いたるところに生えています。また魚や肉もマーケットに溢れています。その他にもバヌアツの治安はとてもよく、日本のように夜出歩いても怖いと感じることがほとんどありません。さらに、島国ならではのゆったりとしたアイランドタイムが流れしており、ノーストレスで過ごすことができます。

バヌアツの食事

バヌアツの国民食と言えば「ラプラプ」です。これは、ヤムイモやタロイモをすりつぶして野菜や肉を乗せて、バナナの葉に包んで焼き石を使って蒸し焼きにした料理です。食べる直前には、ココナッツミルクを豪快にかけて、ラプラプの周りを仲間と囲んでおしゃべりをしながら美味しくいただきます。初めて出会う人でも、ラプラプを囲んで一緒に食べればもうみんな家族です。ラプラプはただの料理ではなくて、みんなが笑顔でいられる社交場としてなくてはならないバヌアツ人のソウルフードなのです。



▲バヌアツの伝統料理ラプラプ

バヌアツ共和国

南太平洋に位置する共和制国家

【概要】面積：約12,190平方キロメートル

人口：約29.3万人

首都：ポートビラ

公用語：ビスマラ語、英語、仏語（いずれも公用語）

宗教：主にキリスト教



青山 翔さんプロフィール

・愛知県名古屋市出身

・愛知県の大学を卒業後、愛知県の小学校教諭として勤務。その後、現職教員特別参加制度を利用し、青年海外協力隊としてバヌアツ共和国に派遣される。帰国後、小学校教諭に復職するが、休職し兵庫教育大学大学院の修士課程に入学。そこで出会ったゼミの先生に感銘を受け、博士課程に進学し、博士課程の学生をしながら小学校教諭として再復職。現在は広島女学院大学幼児教育心理学科・児童教育学科にて体育の魅力を子ども達に教えてもらえるようにと願いながら大学生に体育を教えている。また、学部時代に学んだ体育科教育学と修士・博士時代に学んだ発達心理学を掛け合わせた研究活動を行っている。

参加のきっかけ

大学2年生の時、名古屋で行きつけのカフェのマスターに、「深夜特急」というイングリッシュのティーからイギリスのロンドンまでバスで行くという本を紹介され、旅の病にかかり世界中をバックパックで周るようになりました。旅行ではなく、実際に海外に住んでみたい、また、日本の小学校教諭としての経験を海外で生かせる場があるならチャレンジしてみたいと思い参加したいと考えようになりました。

参加して思うこと

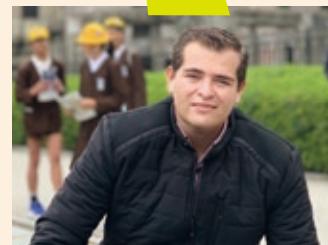
青年海外協力隊に参加して、日本だけでなく、世界中に友達ができたことがとても財産になっています。今年、名古屋から広島に引っ越しましたが、広島という縁もゆかりもない土地にも協力隊というコミュニティがあつてとても安心しています。また、バヌアツ共和国マレクラ島では、身内に限らず村全体が家族のようにお互い支えあって生きています。その考え方方は今でも自分の心に残っていて、人を大切にしたいと心から思えるようになったことは一生の財産だと思います。

「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

HIC article: Saúl Francisco González Gonzálezさん (Mexico)

Hello, my name is Saúl Francisco González González, I am from Mexico and now I'm studying a master's degree in Mechanical Engineering at Hiroshima University. My life as a GRP at Hiroshima International Plaza has been very welcoming and amazing, this year that I've lived here I've learned a lot, like the traditions and ways of thinking of my friends from different countries, we have done several things together since cooking together to partying together, or even when I just want to talk they have supported me. As a GRP I've participated in several events as a volunteer, I've had the fortune to share part of my culture with local and international people, I've made an "Altar de Muertos" on

Nov. 2 for the day of the dead in Mexico, I made a "Piñata" for children and it was very fun to see how they broke it so happily, I've given presentation in elementary schools about my country (in Japanese) it was very fun to see how children were amazed to see the differences between our countries, we even played "A la víbora de la mar" a traditional game of Mexico. My life at the university is very busy but participating in these events helps me a little to free my mind and enjoy. Japan is a country that has welcomed me with open arms, and I am very grateful for all the opportunities they have given me.



グローバルリレーションズ・
プログラム(GRP)とは?

ひろしま国際プラザに人居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国18人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居費用

1泊800円 管理費2,550円／月

月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★今後、来年春からの入居者を募集する予定です。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

外国人留学生合同企業説明会を開催します

日時 2020年3月12日 (木) 13時～16時30分

会場 広島市留学生会館（広島市南区西荒神町1-1）※JR広島駅から徒歩5分

対象 主に2021年3月または2020年9月に大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校を卒業予定の外国人留学生（既卒者含む）※県外留学生も参加できます。

参加企業 30社程度

申込 WEB申込先▶ <https://bit.ly/2XeRf8l> ※当日参加も可能です。

バス 福山・東広島方面から無料送迎バスを運行します。

申込先▶ <https://bit.ly/2QkGYWT>



▲WEB申込先



▲バス送迎申込



交流部&留学生活支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082) 541-3777 FAX.(082) 243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00

日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。

研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082) 421-5900 FAX.(082) 421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室) *情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉鎖する場合は、HPで随時お知らせします。

月～土 10:30～19:00*

日・祝日および年末年始はお休みです。

